

## 教育方針・教育目標

### (1) 学校経営理念（目指す学校の姿）

「児童が明日も行きたくなる学校、保護者・地域が子どもを行かせたくなる学校、教職員が勤めたい学校」以上の姿を追求していくことにより、地域や社会に貢献できる学校経営を推進する。

### (2) 学校教育目標 「ともに学び ともに育つ 赤野っ子」

### (3) 目指す子ども像

【知】 自ら考え判断できる子

【徳】 思いやりと感動する心をもつ子

【体】 健康で明るく元気な子

### (4) 目指す教師像

- ① 教師に対する誇りと使命感を持ち、誠実に粘り強く教育実践できる教師
- ② 児童の心に寄り添い、児童と共に歩む教師
- ③ ともに学び合い、互いに磨き合いより授業を創る教師
- ④ 保護者・地域との信頼関係づくりに努め、積極的に関わることができる教師

### (5) 学校経営方針

- ①確かな学力の向上に努める
  - ・学びが楽しめる授業の創造と自己教育力の育成
  - ・図書館資料や新聞、ICTを活用した授業づくり
- ②特別支援教育及び発達支持的生徒指導の視点に立った教育活動の充実を図る
  - ・一人一人の特性や能力に応じた教育内容と指導方法の工夫・改善
  - ・一人一人がかけがえのない存在であるという認識の徹底
- ③家庭・地域・関係機関と連携・協働して学校教育の推進に努める
  - ・コミュニティ・スクールとしての機能の充実
  - ・保護者・地域の開かれた学校
- ④教育公務員としての使命感や責任感を自覚し、協働性を有した職場づくりに努める

### (6) 多様な教育課題の解決に向けた実践

- ①主体的・対話的で深い学びを生み出す授業づくりの共有を図る。(学習部を主体に)
- ②教育目標や未来像に迫るために、到達目標を意図した学校経営、学級経営に努める。
- ③意図的・計画的な実践の積み重ね(短期・長期・振り返り)
- ④児童の伸びを組織で語り合える同僚性
- ⑤子どもを見る目や子どもとのかかわり方を磨き続ける
  - ・子どもの声を真摯に聴く
  - ・さまざまな背景を抱える子どもへの寄り添う心を持つ
  - ・怒るより叱れ、叱るより諭せ、諭すより褒めよ

⑥児童の特性に応じた支援（学力、友だち関係、不登校、暴力行為等）

⑦保護者・地域・関係機関との良好な関係を築く

(7) 研究主題

『主体的・対話的で深い学びをうみだす国語科の授業

～文章を的確に理解し、自分の考えを適切に表現する児童の育成～』

(8) 研究組織

☆学習部：校内研修全般、ICTの活用、学力分析と対策、基礎学力の定着と向上・道徳教育の推進など

☆生活部：基本的な生活習慣、生命や体の学習、保健衛生、健康・安全、安全教育等